

## お寺に行こう！みんなの壮年会！

「これでいいのか？仏壮のおもしろい」というテーマで開催された東京教区仏教壮年会連盟結成40周年記念大会に橋本仏壮会長他3名で出席してきました。パネルディスカッションでは、仏教壮年会の取り組みや実践例等の紹介もありました。少子高齢化、核家族化等々の変化している時代の中で、次世代への伝承はどうあるべきなのかということを考えさせられる内容でした。弘教寺仏教壮年会においても課題の一つとして見据えていかなければならないと思いました。

弘教寺仏教壮年会の歩みを振り返って見ますと、平成9年9月「門徒の皆様さんが気軽ににお寺に来て、話をしたり、聴いたりして親睦を図りましょう」とのご住職の呼びかけで結成され、32名の会員が集い発足しました。田中岩男様に初代会長としてご尽力いただき礎を築いていただきました。その後、伊部芳夫・貝塚俊市・佐藤吉一様が歴任され、現在は橋本勝会長のもと35名（男28名・女7名）の会員で組織されています。結成以来、毎年5月の総会に始まり隔月の6回（日曜日の午後4時から）の例会を持ち、親鸞聖人のみ教えを学び、会員相互の親睦を図ることを目的に実施しております。



毎回、藤岡市西蓮寺ご住職の艸香雄道先生のご指導で「歎異抄」や「正信念仏偈」を学ばせていただいております。例会の他に仏教婦人会との合同研修旅行や合同報恩講、コンサート等のイベントなど各種行事の準備や子供のつどいのお手伝いを行っております。また各種サークルも次々に生まれ、現在はゴルフ会、囲碁の会、マージャン同好会、パソコン教室、カラオケ会、男の料理教室、水曜会の7つのサークルが寺を中心に活動しております。

現在の例会の流れを紹介しますと、まず「正信偈」をお勤めし、「浄土真宗の生活信条」を唱和します。艸香雄道先生による「歎異抄」

の講読では、毎回わかりやすく解説されたプリントを用意していただきご講話をいただいております。次に「仏教壮年の歌」を唱和し、事務連絡を最後に、1時間半程で例会が終了します。例会後の会食では、ご住職より振る舞われる全国各地の銘酒や坊主さまのおもてなし料理に舌鼓を打ち、和気あいあいのなかで親睦を深めております。

今後の弘教寺仏教壮年会を見据えたときに

会員の減少が危惧されます。会員の増加こそが課題解決策のひとつではないでしょうか。是非多くの方に壮年会に入会していただければと思っております。

お寺に行こう！

（栗原政廣）

弘教寺仏教壮年会に入会して5年、いろいろな行事に参加させてもらっています。例会は隔月、イベント、いろんなサークル活動があり、他のお寺では味わえない楽しさをいただいています。

心配なことは会員が年々高齢化してきていることです。若い人の入会が欲しいですね。

お勤め、ご講話で心の癒やしをいただき、イベントで楽しさ、サークルで元気をもらいストレスを無くして健康寿命を延ばすようにしましょう。

（松元保昌）

日曜日の午後4時からの壮年会（二ヶ月に一回）に用事のない限りは出席しています。艸香ご住職の講話、「正信偈」のお勤めなど今までは異なる時間を過ごしています。そんな中ふと自分はいつ死んで行くのかなと考えたりします。

仏教に無関心であった自分も、ご講話に少し興味をもつようになりました。「浄土真宗」とは、「浄土の教え」とは、「親鸞聖人」とはどんな方なのかなど、聴けたらと思っております。

（小野 勉）

## お寺に行こう！楽しい婦人会！

「そんなにお寺ばかり、何しに行くの？」と近所の方によく聞かれるというその方は、「お寺は楽しい！本堂で阿弥陀様の前に座ると心が落ち着いて、ああ、来てよかったと思うんです。」と言いました。寺でその日の活動が終わると、婦人会の方々は、それぞれに本堂の阿弥陀様に手を合わせて、感謝の思いで帰ります。有り難いことと思います。

昭和47年発足以来、婦人会は月1回の例会を欠かさず、寺の法要や行事のお手伝いも続けてきました。毎回10時から始まる例会では、お勤めやご聴聞（ご法話を聞くこと）が何より大切と、ご住職やお招きした布教使の先生からお話を聞かせていただいています。その後、活動の打ち合わせをしながらお茶とお菓子で懇談します。これは、和気あいあいと情報交換する楽しい時間です。また、1月の新年会は、新年のご馳走や手作りおせちを頂き、フラダンス、コーラスなどの発表や福引などの余興で盛り上がります。2月は手芸教室で、毎回新しい小物作りに挑戦してカレーライスで会食する楽しみな月



新年会



おみがき

です。ダーナ（布施）の月として募金活動も行います。

4月と12月は例会以外に、春の永代経法要と冬の報恩講法要のお手伝いがあります。その前にする「おみがき」は、婦人会の役目です。普段触ることのできな

い本堂内陣の大小様々な仏具をはずして、大切にピカピカに磨き上げると笑顔と喜びの声が溢れます。また、法要のお斎（参拝者の昼食）作りも長年続いている大事な役目です。春は笛チラシの松花堂弁当、冬は昔ながらの精進料理のお膳です。皆で協力して心を込めて作り参拝の方々に喜んでもらえた時の嬉しさが、次の大きな力になっています。

子供の集いや歌声喫茶、講談・浪曲の会、コンサート等様々なイベントや行事がありますが、その準備や接待は、仏教壮年会と共に婦人会のお手伝いに支えられています。また、サークル活動も活発です。平成14年、「ビハークラ話会」の一環でフラダンスを披露し大変好評を博したことがきっかけで、フラダンス愛好会が結成され活動を始めました。その後、次々と新サークルが生まれ、コーラスの会、パッチワークの会、おしゃべり茶会、絵手紙

の会が現在活動中です。介護施設へのボランティアや研修会等での発表機会も得て皆様に喜ばれています。

「皆様に支えられ一年過ぎました。見習う事多くあり元気の源になっています。毎月楽しみにしています。」

昨年入会した方の言葉です。仲間と楽しさを共に味わい、自分にできることで力を出し合って笑顔になれる。その活動が、励みになってまた寺に足が向いてしまう。そんな婦人会への入会、ぜひお待ちしております。

お寺に行こう！

（坊守）

今回の手芸教室では、「ハートの匂い袋」を作りました。フェルトの色合わせ、皆さんセンスが良く、組み合わせが上手でとてもきれいなハートの匂い袋が出来上がりました。

和気あいあい楽しいひと時でした。み法の友と共に、ポップリの香りいっぱいの本堂です。

（野水孝子）



香りいっぱい  
阿弥陀様の前で